

「英語第Ⅲ(B群)」講座番号一覧表

※A群・B群で同じ担当者をWebエントリーすることはできません。

(担当者名の50音順で掲載)

| 講座番号 | 科目名 | 担当者 | 曜日時限 |
|------|------|------------|------|
| 101 | 英語第Ⅲ | アスコウ, トモコ | 土1 |
| 102 | 英語第Ⅲ | アスコウ, トモコ | 土2 |
| 103 | 英語第Ⅲ | 有光 道生 | 木5 |
| 104 | 英語第Ⅲ | 安藤 和弘 | 金5 |
| 105 | 英語第Ⅲ | 太田 裕子 | 金3 |
| 106 | 英語第Ⅲ | 太田 裕子 | 金4 |
| 107 | 英語第Ⅲ | 大野 真澄 | 木4 |
| 108 | 英語第Ⅲ | 神徳 敦子 | 木4 |
| 109 | 英語第Ⅲ | 神徳 敦子 | 木5 |
| 110 | 英語第Ⅲ | 小竹 直 | 金3 |
| 111 | 英語第Ⅲ | 小竹 直 | 金4 |
| 112 | 英語第Ⅲ | 近藤 康裕 | 木1 |
| 113 | 英語第Ⅲ | 近藤 康裕 | 木2 |
| 114 | 英語第Ⅲ | 佐藤 元状 | 木2 |
| 115 | 英語第Ⅲ | 道家 美紀子 | 金1 |
| 116 | 英語第Ⅲ | 道家 美紀子 | 金2 |
| 117 | 英語第Ⅲ | 富田 裕子 | 土1 |
| 118 | 英語第Ⅲ | 永嶋 友 | 木1 |
| 119 | 英語第Ⅲ | 永嶋 友 | 木2 |
| 120 | 英語第Ⅲ | 難波 阿丹 | 土2 |
| 121 | 英語第Ⅲ | 難波 阿丹 | 土3 |
| 122 | 英語第Ⅲ | 新名 ますみ | 金1 |
| 123 | 英語第Ⅲ | 沼田 香穂里 | 木1 |
| 124 | 英語第Ⅲ | 沼田 香穂里 | 木2 |
| 125 | 英語第Ⅲ | 野中 大輔 | 金3 |
| 126 | 英語第Ⅲ | 野中 大輔 | 金4 |
| 127 | 英語第Ⅲ | 平賀 優子 | 土2 |
| 128 | 英語第Ⅲ | 深谷 素子 | 金4 |
| 129 | 英語第Ⅲ | 深谷 素子 | 金5 |
| 130 | 英語第Ⅲ | 山根 亮一 | 金1 |
| 131 | 英語第Ⅲ | 山根 亮一 | 金2 |
| 132 | 英語第Ⅲ | ヤング, ジェローム | 木2 |
| 133 | 英語第Ⅲ | ヤング, ジェローム | 木3 |
| 134 | 英語第Ⅲ | 横山 晃 | 金4 |
| 135 | 英語第Ⅲ | 横山 晃 | 金5 |
| 136 | 英語第Ⅲ | 横山 千晶 | 木4 |
| 137 | 英語第Ⅲ | ロリエ, ジョエル | 金1 |

英語第Ⅲ(B群)

英語第Ⅲ 1単位(春学期)

英語第Ⅲ 1単位(秋学期)

News, Ted Talks, で学ぶリスニングおよび英語圏大学講義 Note taking [C]

春学期・秋学期：土1/土2

アスコウ, トモコ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

ニュース、TED Talks, 英語圏大学講義など様々な英語が聞き取れるようになる事を目的とします。授業を2つのパートに分けて展開します。

Part 1

ニュースの聞き取りではニュース独特の言い回し、時事英語表現、語彙の習得を目指します。TED Talks を不定期で行う予定です。また、時事問題、社会問題の discussion も行います。

Part 2

英語圏の大学の講義を理解する上で必要とされる、ノートの取り方などを含む基本的なスキルや、大学の講義の場の特徴的な英語の使い方についても講義を行います。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

小テスト(30%) 学期末テスト(30%) 課題(30%) 積極的授業参加10%を総合評価

テキスト(教科書):

Contemporary Topics 3 Pearson Longman

担当教員から履修者へのコメント:

4回以上欠席した場合最終試験を受ける資格を失います。また、風邪、その他私事の欠席は公欠にならないので注意してください。

授業開始後から20分までを遅刻、授業開始後20分を過ぎて入室した場合欠席扱いになります。また、遅刻3回で欠席1回と見なします。

音声教材を保存する、メモリーステックを持参してください。

PCにログオンしますので、必ず、IDとパスワードを確認してください。

質問・相談:

1、2限目の休憩時間、昼休み、もしくはメールにて質問を受けめます。

英語第Ⅲ 1単位(春学期)

英語第Ⅲ 1単位(秋学期)

South Park から考察する現代米国の諸問題 [C][P]

春学期・秋学期：木5

有光 道生

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

名誉毀損で訴訟問題になるほど痛烈な風刺表現で知られるカートゥーン*South Park*を通して、米国の現代政治や文化にまつわるテーマ(人種/民族差別、ジェンダーのステレオタイプ、同性愛、麻薬中毒、いじめ、危機管理、宗教問題、SNSのマナーetc.)について英語で学びます。

South Park を哲学的に論じたテキストの読解をする授業と、実際にエピソードを見て分析・発表・議論をする授業を交互に繰り返します。さまざまな問題(文化、歴史、政治、経済、倫理、美学)について批判的に思考する訓練をしつつ、高い英語運用能力(早くて正確な読解+3K=「聞かせる」+「聞く」+「訊く」)を習得することを目指します。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

成績評価は以下の通り行う。

春、秋学期共通

①出席、授業参加: 39% (3%×13回。授業開始後15分以上の遅刻は欠席とみなし、3回以上欠席した者は成績評価の対象から外します。)

②発表: 15% (英英辞典を使い語彙リスト作成。またパワー・ポイントを用意し、エピソードの要約、解説、分析をしてもらう。さらにディスカッションのトピックを2つ準備し、少人数にわけたグルー

プごとにディベートをする際の司会進行を担当。最後に、議論の内容をクラス全体の前で発表してもらう)

注意: 内容的にどうしても発表を交代してほしい場合には事前に申し出ること。

③オリジナル・エピソード: 15%

④試験: 31%

テキスト(教科書):

*South Park*のいくつかは英語字幕付きでHPから鑑賞可(館内鑑賞用DVDを日吉のメディアにも入れておきます。)

→<http://www.southparkstudios.com/>

課題テキストはKeio.jpにアップロードします。

担当教員から履修者へのコメント:

*South Park*には意図的にかかなり暴力的で、差別的な表現が含まれますが、履修学生はそのような過激な表現の前で思考停止に陥るのではなく、それを学術的に分析し、擁護・批判することが要求されます。ただし、内容的にどうしても発表を交代してほしい場合には事前に申し出ること。

英語第Ⅲ 1単位(春学期)

英語第Ⅲ 1単位(秋学期)

文学作品と翻訳で学ぶ英語 [C]

春学期・秋学期：金5

安藤 和弘

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

文学作品の英語を自然な日本語に翻訳することで英文の理解を深める術を身につける講座。本邦未訳の小説を材料とし、通年で読み切るペースで、毎週、一定量の英文を読みこなしながら、その一部分を課題箇所を設定し、翻訳作業を行う。翻訳というのは、辞書は当然のことながら参考にしながらも、英文の口調やニュアンスを聞き取り、辞書から一定の距離を置いて、自分なりに自然に生きた日本語に変換することの意。その照り返しで、英文を生きた言葉として捉え直す才覚を身につけることが、この講座の最大の目的である。授業は、初めに教員が物語展開を手短かに講義形式で確認するが、それ以降は演習形式で行われる。毎回、数名の学生が事前に訳文をレジュメとして電子媒体で教員に提出し、教員がそれらを取りまとめ、授業時に配布する。それを教室で受講学生全員が検討し、意見交換を行う。教員は適宜講評をするが、受講生どうしのあいだで教え合い、学び合うのが理想的である。更なる詳細は初回の授業時に説明をする。取り上げる小説と作家を簡単に紹介しておく。Jonathan Coeは、日本ではどういうわけかほとんど紹介されていないのだが、英国文壇では確固とした地歩を築き、高い評価を受けている作家である。1980年代のサッチャリズムを痛烈に諷刺した*What a Carve Up!* (1994)以後、優れて英国的ユーモアのセンスが効いた社会諷刺連作を物し、現代英国を代表する作家の一人としての地位を確かなものとした。この講座で取り上げる*The Terrible Privacy of Maxwell Sim*は2010年刊行の最近作。時代は2008年の金融危機でがらりと世相が変わったその直後。舞台は、オーストラリアからロンドン、そしてスコットランドへと、主人公の人生の旅という趣きで変わっていく。コミュニケーション・テクノロジーが発達し、人と人の繋がりはより容易になったと思える現代において、子供時代にまで遡って複雑な過去を引きずる主人公(Maxwell Sim)は時代について行けずに孤立する。そういう彼が戸惑いながらも必死に自分じしんを現在時制で再定位しようとする姿が、ユーモラスな筆致で描かれる。喜劇作品だが、同時に深く叙情的でもある。また、金融危機以後の英国社会の空気に触れることができる作品でもある。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

提出物(授業に先立って提出するものと授業時に提出するもの) 75%、授業時の発言25%を目安に総合評価。履修者数が確定してから、教室で改めて通知する。

テキスト(教科書):

Jonathan Coe, *The Terrible Privacy of Maxwell Sim*, Penguin, 2014

ISBN: 978-0241967775

参考書:

なし。

担当教員から履修者へのコメント:

学習意欲がある学生を受講を歓迎する。英国の社会・文化に関心がある諸君に特に受講を勧める。理由のない欠席・遅刻は、原則、認めない。

質問・相談:

原則、3時限と4時限のあいだの休み時間に受ける。一週間前までにアポイントメントを取ること。また、通常の授業回以外で、この目的のために授業を設ける可能性もある。

英語第Ⅲ 1単位(春学期)

英語第Ⅲ 1単位(秋学期)

アカデミックリーディング・スピーキング[C][P]

春学期・秋学期：金3/金4

太田 裕子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、現代社会の諸問題に関する文章を語彙力を身につけながら理解し、深い読解力や考察力を養うことを目指します。推測、グラフや表、注釈の参照、文脈における読み取りなどのスキルも体系的に身につけます。また社会問題に対する自分の考えを説明できるよう実践的スキルを身につけることも目的とします。グループディスカッションを行い、グループ・リーダーやメンバーとして英語で問題を議論し、意見をまとめる力をつけることを目指します。

更に、関心のある社会問題について、自分の意見を客観的な資料を用い、論理的に組み立てながら、説得を目的とするスピーチをし、相互に論じ合う練習も行います。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

成績は平常点(出席状況及び授業態度、発表等の評価)、提出物、及び試験を総合して判断される。

テキスト(教科書):

Rubin, Bruce. (2012). *Inside Reading: The Academic Word List in Context*. 3. Second edition. Oxford University Press. ISBN: 978-0-19-441629-0

英語第Ⅲ 1単位(春学期)

英語第Ⅲ 1単位(秋学期)

World News and Culture [C][P]

春学期・秋学期：木4

大野 真澄

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

The main objective of this course is to improve four skills (reading, listening, speaking, and writing) and develop logical and critical thinking skills in the Computer-Assisted Language Learning (CALL) environment. This course also aims to help students broaden their knowledge and horizon by dealing with various social and cultural issues around the world and express their opinions and ideas logically and effectively in English.

This course deals with one topic over two weeks. The first week mainly focuses on listening and reading activities, which include vocabulary acquisition, dictation, shadowing, reading-aloud, and listening and reading comprehension. The second week centers on speaking and writing activities such as pair or group discussions, speeches, oral presentations, summary writing, and paragraph or essay writing.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Evaluation is based on attendance and class participation (15%), in-class activities and homework (35%), listening tests (20%), and the final writing assignment (30%).

テキスト(教科書):

Shishido, M., Allen, B., & Takahashi, M. (2014). *AFP World News Report 2*. Seibido. ISBN:978-4-7919-1020-5

Handouts will be distributed in class.

担当教員から履修者へのコメント:

(1) The class will be conducted mainly in English, and students are expected to use this language actively during the class.

(2) Students are expected to bring a dictionary (an English-English dictionary is recommended.)

(3) Students need to bring a USB stick memory to class.

(4) More than one-third of absences will not be approved.

質問・相談:

If students have any questions, I will be contacted either before or after class, or by email.

英語第Ⅲ 1単位(春学期)

英語第Ⅲ 1単位(秋学期)

ニュース英語を聞く・読む・考える [C][P]

春学期・秋学期：木4/木5

神徳 敦子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

・時事英語を教材として、リスニング・リーディングを中心に演習を行います。

・テキストを用いてニュース英語を聞く回は、リスニングだけでなく総合的な演習の授業です。英語力の基礎を築く読解や、ニュースに関連した身近な話題についてのグループ作業、短い発表(speaking)・会話(conversation)やコメントを書く作業も含まれます。

・新聞記事を読む回は、最新の英字新聞を題材にし、担当者を決めた演習形式で行います。英語の理解だけでなく背景的知识や情報のリサーチも含めて、自力で記事を読みこなす力をつけることを目標とします。

・読んだ記事や資料を用いて1学期に1度ずつ、社会問題についてまとめた量の意見文を書くことを課します。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

期末テストで7割程度の評価をします。その他、通常点(授業内でのリスニングテスト(dictation)、発表、数回のコメント(writing)提出等)、及び最後の授業時に提出するshort essay(意見文)の評価を加えて、全体の評価とします。

テキスト(教科書):

S.Yamane, K.yamane, Broadcast: ABC World News Tonight2 (映像で学ぶABCワールドニュース2) Kinseido(金星堂)

ISBN978-4-7647-4096-9

担当教員から履修者へのコメント:

・英語学習は4技能のどれもが大切です。

・読解の作業はただ意味がわかればよいのではなく、正確な読みと、理解した語彙・熟語・文法をアウトプットに活かすことを意識して学習しましょう。

・毎回予習し(特にテキストの映像を見て行う作業は予習必須)、授業中に全ての疑問を解決して下さい。

・必要に応じて積極的に英英辞典を引きましょう。

・この授業のキーワードは<episodes, communication, cooperation>です。

英語第Ⅲ 1単位(春学期)

英語第Ⅲ 1単位(秋学期)

BBCで聴く・見る最新のニュース[C][P]

春学期・秋学期：金3/金4

小竹 直

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本講義は、BBCで報じられるニュースを用いて、英語力の向上を目指します。既存のテキストではなく、できる限り直近に報じられたニュースを取り上げ、イギリス英語を中心としたリスニング力の向上を第一の目的とします。また幅広い内容の英語ニュースに触れることで、時事問題を英語で考えることをより身近なものにすることを目標とします。

授業は、受講者による発表と毎週課される課題について確認・解説を中心に進めていきます。春学期の発表はBBC Radio 4の主要ニュース番組であるSix O'Clock NewsのHeadlines(ニュースの冒頭約1分でその日の主なニュースの見出しを読み上げたもの)を題材にし、ニュース英語特有の語彙を増やし、イギリスの政治・社会状況を身近なものにしていきます。秋学期は、個々のテレビニュースを題材とし、英語・内容ともに掘り下げた発表を行います。

各回の課題はBBCのテレビニュースから題材を選びます。政治・経済という狭い意味での時事問題にとらわれず、文化・スポーツ・芸能なども含め、受講者の関心を考慮しながら選ぶ予定です。ここ数年はBrexitを中心とした政治に関する動向に常に注目しながらも、その他の経済・文化・科学など幅広く扱っています。一年を通して発表・課題ともに既存の教材では取り扱えない「今」をテーマに、ニュースを聞いていきます。2020年は東京オリンピックの年でもあるので、「イギリスから見た日本」というようなニュースも見ることが出来るかもしれません。

発表・課題ともに、リスニングが中心になり、毎回ディクテーションの予習を行うことが前提となります。またニュース英語に頻繁に用いられる語彙や表現については、小テストなどを通じて確認し身につけていきます。英語ニュースを聴き、内容が理解でき、さらに独力で内容を詳しく調べることができるようになることを目標とします。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

期末試験 (50%) , 小テスト (15%) , プレゼンテーション (15%) , 平常点 [出席、予習・授業中の学習状況] (20%)

テキスト(教科書):

授業内でハンドアウトを配布し、音声教材はkeio.jp上にて配布します。音源の再生できる環境は必須ですので、不明な点がある場合は初回の授業中に相談してください。

参考書:

授業中に適宜紹介します。

担当教員から履修者へのコメント:

授業には辞書（電子辞書も歓迎）を持参してください。

予習が必須の授業となります。さまざまなトピックを積極的に楽しむ好奇心を持った学生の参加を希望します。現時点でのリスニング力は問いません。粘り強くリスニングに取り組むことが必要となります。

質問・相談:

講義の前後に随時受け付けます。またメールでの相談も受け付けます（アドレスは初回授業時に通知します）。

英語第Ⅲ 1単位(春学期)

英語第Ⅲ 1単位(秋学期)

To Improve Reading and Listening Skills [C]

* 同一担当者の英語第Ⅲを2クラス履修することはできない。

春学期・秋学期：木1/木2

近藤 康裕

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Using a textbook which selects news stories of the BBC, this course aims at improving students' reading and listening skills as well as at building vocabulary that the students of the Department of Law and Politics should master when leaving Hiyoshi Campus. Students are supposed to read the textbook and listen to the news stories in advance for class activities.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

attendance, performance, presentation: 30% + tests: 70%

テキスト(教科書):

Timothy Knowles, 田村真弓, 田中みんね, 中村美帆子編著『British News Update 2』(金星堂)

ISBN: 978-4-7647-4097-6

初回の授業までに生協で購入して教室に持参すること。

テキストを持参しないで教室に来ることは認めない。

担当教員から履修者へのコメント:

Students should bring an English-Japanese dictionary or/and an English-English dictionary to each class. Regular attendance is expected; students who miss more than three classes per semester will fail.

質問・相談:

When students have questions, they can ask the instructor before, during, or after class.

英語第Ⅲ 1単位(春学期)

英語第Ⅲ 1単位(秋学期)

映画ワークショップで学ぶ英語 > 『つぐない』編 [C][P]

春学期・秋学期：木2

佐藤 元状

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業では、映画ワークショップを通じて、リーディング、リスニング、ライティング、スピーキングを総合的に学習していきます。カジュアルな雰囲気の中で、映画のスク립トを読んだり、映画の会話を聴いたり、書いたり、話したりしているうちに、自信を持って英語を読み、聴き、書き、話すことができるようにしていきます。ワークショップの性格上、とりわけスピーキング能力の向上が目覚ましいです。

今年はジョー・ライト監督の『つぐない』を題材として、ワークショップを行います。グループ・ワークによって、英語のスピーキングの基本的な学習を進めていき、学期末には各グループで映画のスク립トを自由に改作していただき、それを英語で演じていただきます。学期末の発表会は、英語を自分の言葉として発することの喜びを確認する貴重な時間になるはずです。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

成績は、出席、平常点、ショートテスト、英語での上演を総合的に評価します。配点の目安は、出席と平常点で25%、ショートテストで25%、英語での上演で50%です。

テキスト(教科書):

適宜プリントをこちらで準備します。

参考書:

1) McEwan, Ian. (2002). *Atonement*. Vintage. ISBN-13:

978-0099429791 : 映画の原作です。授業でも一部扱います。

2) Hampton, Christopher. (2007). *Atonement: The Shooting Script*. New Market Press. ISBN-13: 978-1557047991 : 映画のスク립トです。

3) 『贖罪』(上・下) イアン・マキューアン著 新潮文庫 2008年 : 原作の翻訳です。入手しておいてください。

担当教員から履修者へのコメント:

ワークショップ形式の授業ですので、毎回の参加が前提となります。英語に自信がない人の参加は心から歓迎しますが、授業に積極的に参加していただくことが条件です。

質問・相談:

質問と相談は授業後に受け付けます。メールアドレスは、motsato@a7.keio.jpです。

英語第Ⅲ 1単位(春学期)

英語第Ⅲ 1単位(秋学期)

現代英米評論 [C][P]

春学期・秋学期：金1/金2

道家 美紀子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では1500wds程度の論文を読み解く力を付けることをねらいとします。テーマは知的刺激に富むもので、脳科学、メディアの印象操作、大戦後世界を席卷するアメリカ文化、対称性の科学、資本主義経済、パッケージ、中世の美術、などと多岐にわたりますが、極度に専門性が高いわけではなく大学生の各分野への最適な入口レベルといえます。また英語の難易度や文体も様々で、多様な文章にふれることが可能です。前期は様々なトピックを、後期は資本主義と現代文化を中心にピックアップしてテーマに統一性を持たせて読んでいきます。理解を深める資料を動画、ハンドアウトの形で追加します。

授業に臨む前にkeio.jpにアップされた資料に目を配り与えられた小課題をすることで、論文の内容を把握していただくことが要求されます。授業では構成や内容を正確に分析しエッセイに関しての問題を考えることで、さらに深い理解をめざしたいと思います。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

成績は出席、平常点(小テスト、クラス内での発言)、提出物、期末テストの総合評価です。

テキスト(教科書):

東京大学教養学部英語部会編 *The Universe of English II* .

東京大学出版会 2006年 1900円

ISBN: 4-13-082103-2

参考書:

講義中に指示します。

またkeio.jpに事前にアップすることもあります。

担当教員から履修者へのコメント:

必ず予習、準備をして、出席すること。

30分以上の遅刻は欠席とみなします。

4回以上の欠席で失格とします。

質問・相談:

質問、相談は授業前後、またメール(M.Doke@a8.keio.jp)で受け付けます。

英語第Ⅲ 1単位(春学期)

英語第Ⅲ 1単位(秋学期)

英国社会と文化を理解する [C][P]

春学期・秋学期: 土1

富田 裕子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業ではリーディングとリスニングとスピーキングを中心に
 行う。リーディングでは*The Independent*, *The Times*, *The Guardian* などの英国の新聞、雑誌の記事、随筆など多種多様な教材を用いて読解力、語彙力をつけることを主な目的とする。英国の初等・中等・高等教育、移民問題、テロ事件、医療と福祉、マスメディア(新聞・ラジオ・テレビ)、王族、階級制度、家族制度、女性問題(結婚・離婚・育児)、住宅、政治、経済、文学、歴史、宗教と行事などできるだけ広い分野をカバーし、要約、要旨のつかみ方、速読の練習もあわせて行い、英国社会や文化が理解できるようにしたい。リスニングの練習はテープ、CD、DVDを用いて毎週行い、比較的簡単なものから入っていき、プリティッシュイングリッシュのナチュラルなスピードに慣れ、内容を正確に聞き取る練習を行う。この授業は英語と日本語を用いて行います。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

成績は出席、授業への貢献度、宿題、試験などから総合的に評価します。

出席並びに授業への貢献度 (50%)、宿題並びに試験 (50%)

テキスト(教科書):

特に指定しません。資料プリントを配布します。

参考書:

Joyce, Colin & Mano, Yasushi(2014). *Realise Britain* 1st ed. Kinseido.

ISBN: 978-4-7647-3982-6 C1082

担当教員から履修者へのコメント:

積極的に学ぶ意欲を持つ学生を歓迎します。各学期ともに全日程の3分の1を欠席したものはその時点で自動的に期末試験の受験資格を失います。理由のない欠席は評価を下げるので注意すること。また遅刻はしないこと。

質問・相談:

質問・相談は授業終了後に受け付けます。

英語第Ⅲ 1単位(春学期)

英語第Ⅲ 1単位(秋学期)

BBC English で英語力を伸ばす[C][P]

春学期・秋学期: 木1/木2

永嶋 友

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業は、BBCの放送や記事で英語力を総合的に伸ばすことを目的とします。BBCの放送や記事について読み・聴き・書き・話すことで、時事問題を英語で正しく理解し要約し伝え、それについて自分の意見を述べる能力の獲得を目指します。最近のBBCニュースを扱う*British News Update 2*を教科書とし、さらにBBC News、BBC Radio 4、BBC Learning Englishなどの最新の放送や記事を教材として使用します。また最近の放送や記事に関する発表や質疑応答にも取り組んでもらいます。発表準備は各自授業外で行ってもらいます。発表回数は生徒数で判断します。平常点、発表、教科書の各Unit後の小テスト、学期末テストで評価を行います。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

授業内発表・試験の結果および平常点(出席状況および授業態度)による評価

テキスト(教科書):

『British News Update 2: 映像で学ぶイギリス公共放送の最新ニュース2』 Timothy Knowles / 田村真弓 / 田中みんね / 中村美帆子 編著 金星堂 2020年 ISBN: 978-4-7647-4097-6

参考書:

BBC News: <https://www.bbc.co.uk/news>

BBC Radio 4: <https://www.bbc.co.uk/radio4>

BBC Learning English: <http://www.bbc.co.uk/learningenglish/>

英語第Ⅲ 1単位(春学期)

英語第Ⅲ 1単位(秋学期)

Philip K. Dick と SF 映画 [C]

春学期・秋学期: 土2/土3

難波 阿丹

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業では、アメリカのSF小説家Philip K. Dickの短編小説を原作とする『トータル・リコール』、『マイノリティー・リポート』等の映画化作品の鑑賞と、原作小説の精読による、総合的な英語力の向上を目的としています。

授業の前半では、Dick作品を原作とするSF映画のいくつかのシーンと小説との比較を通して、特徴的な英語の言い回しを理解します。そして、授業の後半では、Dickの小説を集中的に読解し、英語のボキャブラリーを増やします。また、小説に登場するキャラクターの特徴や物語展開を要約することで、リーディング力とライティング力を高めます。

最終的に、映画の台詞を覚え、各グループでいくつかのシーンを再現することにより、リスニング力とスピーキング力も鍛えていきます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

以下の要素による総合評価

(1) 最終レポート 40%

(2) グループ・プレゼンテーション 10%

(3) 授業への参加状況 20%

(4) 小テスト 30%

テキスト(教科書):

Philip, K, Dick.(2014) 13 Short Stories by Philip K. Dick, Running Press.

Philip, K, Dick.(2010) Valis, Gateway.

参考書:

Philip, K, Dick.(2010) Do Androids Dream of Electric Sheep?, Gateway.

Philip, K, Dick.(2014) We Can Remember It for You Wholesale, Gateway.

Philip, K, Dick.(2017) The Minority Report, Gollancz.

担当教員から履修者へのコメント:

- ・事前に小説を読み、映画を視聴しておくこと。小説はKindle版で読むことができます。また、映画は、可能であればDVDを購入して、繰り返し視聴しましょう。
- ・小説や映画の内容に関する小テストを随時行います。

質問・相談:

質問や相談がある場合は、教室内もしくはEメール(anni.namba@gmail.com)にて受け付けます。

英語第Ⅲ 1単位(春学期)

英語第Ⅲ 1単位(秋学期)

サスペンス小説講読 [C]

春学期・秋学期: 金1

新名 ますみ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

サスペンス小説を読みながら、英語の豊かな表現を学びます。優れた作品には、緊迫感あふれる筋書きに加え、人物の心理描写や巧まざるユーモアが重要な要素となっていることが多いものです。それを楽しみながら読むことで、一語一語をおろそかにせず行間を読む力を習得します。内容も「ゴルフ場崩れの青年が出逢う資産家失踪事件とは?」や「若い夫に捨てられた女は何を思う……?」などなど、退屈しないで読んでいける筋書きとなっています。

作品は朗読、和訳、解釈をしながら読み進めていきます。和訳は全員に丁寧に予習をしてきてもらいます。同じ箇所を2、3人に披露してもらうので、型どおりの自分なりの訳ができるように準備して下さい。解釈においても、人物の心理や作者の考えなど、

具体的なイメージを掴んでくることが重要となります。一回の講義で2頁前後進む予定です。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

評価方法: 平常点重視。

出席、予習、発言など平常点: 60%

学期末試験: 40%

上記以外の考慮事項:

小テスト・学期末試験の合計点数がクラス平均点以下である時には、総合としてはSの基準点に達している学生であっても、評価はAに下がります。

小テスト・学期末試験の合計点数がクラス最低点である時には、総合としてはBの基準点に達している学生であっても、評価はCに下がります。

テキスト(教科書):

プリント(授業時に配布)

担当教員から履修者へのコメント:

テキストの英文を予習として全員に英訳してきてもらいます。綿密な英文和訳の作業や、精読に興味がない学生には不向きと承知してください。

試験結果や成績の詳細については、授業内のメッセージから個別にお知らせします。

質問・相談:

授業(出講: 火1, 2限、金1, 2限)の前後に、教員室、又は担当教室の廊下にて受け付けます。

又は、下記のメールアドレスまで連絡してください。

m-niina@keio.jp

英語第Ⅲ 1単位(春学期)

英語第Ⅲ 1単位(秋学期)

BBC News [C][P]

春学期・秋学期: 木1/木2

沼田 香穂里

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

The aim of this course is to help students to improve their English language skills through reading and talking about the textbook featuring *BBC World News* clips. Students practise expressing their opinion in English after learning the cultural background and related phrases used in the news. The topics discussed in the class include the current social issues which the Japanese people are also interested in: environment, ethnic minorities, smartphone. Considering the different ideas and attitudes of British and Japanese people, students can have a wider range of perspectives and clear opinions of their own.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Grades based are on semester-end examinations, attendance and class participation. Students who are absent from the class more than three times each semester cannot take the semester-end examination.

テキスト(教科書):

British News Update 2. (2020). Kinseido. ISBN 978-4-7647-4097-6

担当教員から履修者へのコメント:

I look forward to teaching students who are motivated and have a positive attitude to express their opinion in the class.

質問・相談:

I will be available for students before and after class for questions and consultations.

英語第Ⅲ 1単位(春学期)

英語第Ⅲ 1単位(秋学期)

多様なジャンルの英語を読んで訳す [C]

春学期・秋学期: 金3/金4

野中 大輔

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、様々なジャンルの英語文章を日本語に訳す演習を行います。それほど難しくないように見える英文でも、いざ日本語にしようとするとうまく訳せず、意外と読めていなかったことに気づく、ということがあるものです。スムーズに英文が読めなかった原因を見つけ(文法・語法の知識の場合もあれば、論理展開を追えて

いなかったからということもあるでしょう)、それを補うために必要な技術(辞書の使い方、ウェブ上で英語表現を検索するやり方など)を知って、自立的な英語学習ができるようになることを目指します。また、日本語に訳すことを通じて、よい日本語(自然な日本語、読みやすい日本語、誤解を招かない日本語)を書く訓練をすると同時に、日英語の違いについて考察する場にもしたいと思っています。講師の専門が言語学なので、言語学の視点から日英語の仕組みについて考えることも取り入れるつもりです。扱う英文は、物語、ニュース、科学記事(言語学を含む)、レシピなどを予定しています。ジャンルによって必要な知識が異なることを知り、今後のそれぞれの学習に必要なジャンルの読み方を考えてもらうことも狙いの一つです。翻訳課題の提出が複数回求められます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

課題の提出・平常点・授業内試験

テキスト(教科書):

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

担当教員から履修者へのコメント:

翻訳課題の提出が複数回求められます。言語学に関心がある人は歓迎です(言語学の視点から日本語・英語について見つめ直したい人、言語学の知識を実際に活かして何かしてみたい人など)。ただし、言語学の事前知識は一切必要ありません。講師が実際に翻訳書を出したときに注意したこと、工夫したことなども話してみたいと思います。

質問・相談:

講義の前後に随時受け付けます。

英語第Ⅲ 1単位(春学期)

英語第Ⅲ 1単位(秋学期)

英語音声学の基礎と発音演習[C][P]

春学期・秋学期: 土2

平賀 優子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、英語の正しい発音(*1)を身につけることで、聴解力を向上させることをねらいとしています。英語の発音を、模倣からだけでなく音声学の理論(IPA:International Phonetic Alphabetなど)を習得することにより理解することを目標にしています。また、英語の学習の方法も随時提案し、自学自習ができる能力を養います。*1(授業では主にGA:General Americanをモデルとする)

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

試験、平常点

テキスト(教科書):

English Sounds, English Minds (英語音声の基礎と聴解トレーニング)

杉森幹彦ほか著 金星堂

担当教員から履修者へのコメント:

積極的に授業に取り組んでください。

英語第Ⅲ 1単位(春学期)

英語第Ⅲ 1単位(秋学期)

Active Reading: 英語で多読、濫読、味読 [C][P]

春学期・秋学期: 金4/金5

深谷 素子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

英語で多読(たくさん読む)、濫読(多様なジャンルを読む)、味読(じっくり味わって読む)することで、総合的な英語力、読書力を身につけます。

基本的な活動は、Extensive Reading(多読)です。多読とは、精読、訳読の対極にある英語学習法です。自分のレベルに合った大量の英文を、母語で読書をするときのように内容理解を主な目的として読むことで、語彙力、読解力アップ、及び、大量のインプットによるアウトプット能力の増強を目指します。受講者は、日吉メディアセンターやebook等で用意されている様々なレベルの本の中から、自分のレベルに合った本を選び、自分のペースで自由に読書します。日本語に訳さないで英語を理解すること、読書を楽しむこと、そしてたくさん読むことが主ルールです。最初の授業でレベルチェックテストを行い、どのレベルから読み始めればいいのかを決めて

からスタートしますので、英語をスラスラ読むのが苦手でも十分に参加可能です。

とはいえ、90分ずっと黙って読書をしていると必ず眠くなります。そこで、授業時間の半分は、アウトプット中心の活動を行います。お薦め本の紹介やディスカッションのほか、ブックトーク、ビブリオバトル、ポップづくり、ワールドカフェなどを通して、英語で書かれた文章の内容を味わいながら、各々の読後感を語り合います。春学期はまず量を読むことを主眼としますが、秋学期は「何をどう読むか」を念頭に置き、読書の質を高めていきたいと思えます。目指すは、「英語を読む」ではなく、「本を読む、たまたま英語の本だけだ」というレベルです。春、秋学期末にそれぞれ、英語によるブックレポートを課します。

着実に読める本のレベルを上げていくため、また各自の興味に合った本を選んで読んでいくために、春学期に個別面談（授業中に実施）を行います。

受講者全員が100万語以上読むように指導しますので、ついてきてください。

受講者は、授業前に必ず読む本を日吉メディアセンター等で借りて持参してください。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

出席（30%）、課題の提出、授業への参加度などを含めた平常点（30%）、学期末のブックレポート（40%）を総合的に見て評価します。

半期に3回以上欠席した場合、単位は与えません。

授業内読書も評価対象となります。授業内読書中の私語、睡眠、スマホ、トイレ退出は大きな減点対象となります。また、読む本を持参せずに授業に参加することはできません。欠席扱いとなりますので気をつけてください。

テキスト(教科書):

プリント教材を配布します。

担当教員から履修者へのコメント:

1. 遅刻、欠席は厳禁。公欠は認めません。授業は出席するのが当たり前と考えてください。

2. 本を読むことがそもそも嫌いな方には、この学習法は向きません。ふだん、日本語でもほとんど本を読まない、情報収集の手段として拾い読みしかしない、という方にとっては時間の無駄です。逆に、英語で本を読んだことはないが、本を読んでいると心が落ち着く、読んだ本の内容について友達と語り合ったりするのが好きという方にはお薦めです。

3. この授業で多読の対象とするのは、英語の「本」です。新聞記事や雑誌の多読は授業では扱いませんので、希望者は自宅学習として各行ってください。

4. 授業中の読書時間に、読書以外のこと（他の授業の予習や宿題、ダブルスクールのための勉強等）をしていた場合は教室を出てもらいますので、注意してください。

5. 教室に来る前に、必ず図書館等で本を借りて持参してください。

質問・相談:

質問、相談は、deepvalley@keio.jpまでお願いします。

英語第三 1 単位(春学期)

英語第三 1 単位(秋学期)

読み、書き、話し、そして聞く [C][P]

春学期・秋学期：金1/金2

山根 亮一

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業の受講者は、記事、映画、そして短編小説などの多様な英語に触れながら、自らの思考をアカデミックなかたちで表現する方法を学びます。リーディングだけではなく、ライティング、スピーキング、リスニングのエクササイズも行いますので、この授業を通じて受講者は英語でのコミュニケーション能力を向上させることができます。先ず春学期は、自分が読んだこと、または観たことを要約する能力、そして自分の意見を周囲の人に英語で説明する能力を習得します。そして秋学期には、それまでに培った説明、批評能力の更なる向上を目指すと同時に、ディスカッションで役立つ英語表現を練習します。以上のことを、基礎的なアカデミックライティングをじっくりと学びながら実践することで、結果として本授業の受講者は、英語圏の文化や歴史に親しむだけでなく、洗練された英語を実用的に使いこなせるようになります。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

春学期、秋学期 2 回の定期試験

授業内レポート

平常点：出席状況と授業内演習における成果についての評価

テキスト(教科書):

プリント等を配布する。

英語第三 1 単位(春学期)

英語第三 1 単位(秋学期)

The Music of English [C][P]

春学期・秋学期：木2

ヤング, ジェローム

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

The aim of this class is to help students improve their ability to communicate naturally in English. This course uses contemporary English lyric poetry, songs, as a way to deepen students' understanding of the natural rhythm of spoken English. Using songs from around the world will expose students to a variety of English dialects, cultural norms, political debates, and will also given them an opportunity to learn about and understand the historical circumstances that gave rise to various musical styles, genres.

Students will be encouraged to engage actively in learning songs--though no singing talent is required in this class. Students will be coached on how best to use lyric poetry to improve their spoken English. The goal of these oral exercises is to build student confidence in speaking English by improving students' pronunciation and intonation, and by improving their understanding of the natural flow of spoken English.

In addition to these practical aspects of spoken English, there will be various writing, reading, and research assignments throughout the semester, designed to get students engaged with various topics related to popular music, culture, and history, and to deepen their understanding of the English language itself.

During the first half of the semester there will be listening and comprehension exercises, as well as worksheets and writing assignments. Toward the end of the semester, students will give presentations on their research of popular music and culture. These presentations will be about 15 minutes each, will involve the use of PowerPoint, and will be followed by questions from the audience. Active and enthusiastic participation and regular attendance in this class are essential, and are guaranteed to help students become better speakers of English.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

There will be continuous evaluation of a student's performance and progress in this class. Final grades will be based on attendance, active class participation, timely completion of all homework assignments, final presentations, and oral exams.

テキスト(教科書):

The instructor will provide readings and worksheets, as well as relevant websites, for each lesson.

担当教員から履修者へのコメント:

Instructor's Expectations: Regular on-time attendance, preparation of weekly homework assignments, and active participation in class (using English at all times). Students can expect feedback from the instructor on all assignments, classroom activities, and questions they have. The main goal of this course is to help students improve their English speaking ability and, with their individual commitment, they can fully expect to be better English speakers by the end of the course.

質問・相談:

When students have questions, they can ask me before, during, or after class, or via email.

英語第Ⅲ 1単位(春学期)**英語第Ⅲ 1単位(秋学期)**

Case Studies in Criminal Law [C][P]

春学期・秋学期：木3

ヤング, ジェローム

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

The aim of this class is to help students improve their ability to communicate naturally in English. The theme of this course is criminal law and uses specific cases as a way to get to a deeper understanding of the criminal justice system. Issues of culpability, justification, excuse, and mitigation, as well as issues related to the judiciary process, in particular the jury trial and citizen judges, will be central themes in this class. While this course aims to improve students' listening, reading, writing, and communication skills, students will also improve their knowledge of the way the jury trial functions. The spring semester will be devoted to examining the criminal justice system in Japan, and will pay particular attention to the challenges posed by the "citizen judge" system. The fall semester will be devoted to examining jury trials from around the world. Each semester, students will give presentations on a case of their choice. These presentations will be about 15 minutes each and will be followed by audience discussions. To prepare for presentations, students will choose a specific case to research, and then design a presentation, using PowerPoint, to introduce the legal and philosophical issues of the case to class. Final presentations should be both informative and argumentative. Active and enthusiastic participation and regular attendance in this class are essential.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

There will be continuous evaluation of a student's performance and progress in this class. Final grades will be based on attendance, active class participation, timely completion of all homework assignments, and final presentations.

テキスト(教科書):

The instructor will provide readings and worksheets, as well as relevant websites, for each lesson.

担当教員から履修者へのコメント:

Instructor's Expectations: Regular on-time attendance, preparation of weekly homework assignments, and active participation in class (using English at all times). No previous knowledge of criminal law is required in this class. Students can expect feedback from the instructor on all assignments, classroom activities, and questions they have. This course will help students improve their English public speaking skills, and will provide them with a firm foundation for understanding the jury trial system.

質問・相談:

When students have questions, they can ask me anytime before, during, or after class, or via email.

英語第Ⅲ 1単位(春学期)**英語第Ⅲ 1単位(秋学期)**

映画からのぞくアメリカの文化と歴史 [C]

春学期・秋学期：金4/金5

横山 晃

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業では、映画分析を通して、英語表現や作品が作られた背景知識を学習することを目的とします。一つの作品を数週にわたって鑑賞し、各回、気になったイメージやモチーフについて書き留めてもらいます。気になった箇所、あるいは意味がわからなかった箇所として意見があがったシーンについては、再度見直してディスカッションを試みます。映画に対する監督や俳優のインタビューも時間に余裕があれば視聴します。

作品に関する分析やレビューなど、批評家の意見を参照することで、各自解釈を深めてもらいます。繰り返されるイメージやモチーフを拾いながら、それらを元に各自の考えを展開し、一つの論として提示するという論理的な能力を養います。初回の授業ではエクササイズを行い、翌週以降鑑賞する映画については、複数候補挙げるので、その際決定したいと思います。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点およびレポートによる評価

テキスト(教科書):

指定なし。必要な資料は適宜プリントとして配布します。

参考書:

適宜紹介します。

英語第Ⅲ 1単位(春学期)**英語第Ⅲ 1単位(秋学期)**

未訳の短編を訳して、発表しよう[C][P]

春学期・秋学期：木4

横山 千晶

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

物語の解釈が一つではありません。皆さんが読まれている翻訳作品も、実は訳者の解釈がそこに色濃く反映されたものです。同時に翻訳の作業は、訳者その人の人生と経験を作品に反映させていくプロセスでもあります。この授業では「翻訳」という作業を身体と五感を通して行いたいと思います。

扱うものは英語の短編小説です。まだ日本語に訳されていないもの、あまり知られていない若手の作家のものを選びます。同時に皆さん方が訳してみたいという未訳の短編がありましたら、それもクラスにぜひとも持ち寄ってください。

授業は徹底した精読から行いますが、それぞれの解釈をグループで話し合いながら、訳に反映させていきます。同時に出来上がった翻訳は朗読会の形式で発表します。今年は2020年12月21日(月曜日)の18時半から発表会を行いますので、それに出席できることが履修の条件となります。印刷された文字を声に出すとまた新たな解釈が生まれます。また異なる場所で読んでみるとどのように文字が生きてくるか。そんな身体的な経験も味わってみましょう。

座学のみならず身体的なワークショップを通した授業を行います。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

前期・後期ともに毎回の課題、ディスカッションやワークショップでのパフォーマンス、最終成果物と朗読会の観点から評価を行います。内訳は以下のとおりです。

毎回の課題 50%

ディスカッションやワークショップでのパフォーマンス 30%

最終成果物と朗読会 20%

テキスト(教科書):

プリントを使います。

参考書:

授業の中でその都度紹介します。

担当教員から履修者へのコメント:

毎回課題が出ます。課題の提出は、keio.jpの授業支援のシステムを使って行いますので、使い方に慣れておいてください。最後の朗読会は授業時間外で行う予定ですが、詳しいことは最初の授業で説明いたします。精読は個人の作業ですが、授業ではグループワークが主体になります。また12月21日18時半からの朗読会に参加できることが履修の条件となります。

質問・相談:

授業に関する質問は、メールにてお送り下さい。アドレスは、chacky@keio.jpです。

英語第Ⅲ 1単位(春学期)**英語第Ⅲ 1単位(秋学期)**

Exploring the many images of Japan [C][P]

春学期・秋学期：金1

ロリエ, ジョエル

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This discussion-based course makes students discuss the various intercultural images that form the basis of their knowledge of their own culture. Students will reflect on stereotypes and analyze them to appreciate their value in today's globalized world. The class will operate in a cooperative learning environment with teams formed to help each individual achieve their own goals.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Participation: 20%

Homework: 20%

Projects: 30%

Assessments: 20%

Quizzes: 10%

テキスト(教科書):

All course materials will be provided in class by the instructor.